

2023-2024年度



国際ロータリー テーマ

世界に希望を生み出そう

第2690地区 スローガン

希望の種を播きましょう。育てましょう。

益田ロータリークラブ スローガン

希望は心の太陽である

2024年4月12日〈金〉第2例会 第2983回

例会場：益田商工会議所 2階会議室

事務局 TEL：080-2923-1616 FAX：23-7379 クラブ番号：14716

会員専用ページパスワード（英数半角）：masuda0078564085

I M記念ページパスワード（英数半角）：welcome20202021im

ロータリーの友電子版 ID：2690-00407

パスワード：00407-242

~~~~~プログラム~~~~~

12:30

◎開会の言葉

田上幹事

◎開会点鐘

田原会長

◎ロータリーソング「それでこそロータリー」 斉唱

◎ゲストスピーカー&ビジター紹介

田上幹事

本日は地区研修協議会報告のため、ゲストスピーカー&ビジターはありません。

◎慶祝報告積み残し ご結婚：久城会員

◎食事案内《きりた》

安野SAA

以下午後の部

◎会長挨拶

田原会長

◎スマイル報告

安野SAA

◎幹事報告

田上幹事

1. 本日4月第11回理事会を開催しますので、理事の方は出席をお願い致します。
2. 4月14日（日）、出雲ロータリークラブ創立70周年記念式典がニューウェルシティ出雲で開催されます（受付12時30分～、記念式典13時30分、祝賀会16時～）。永島副会長、田上幹事が出席予定です。
3. 4月19日4月第3例会は、佐々井美穂会員による会員スピーチ「相続登記義務化について」を予定しています。
4. 4月26日4月第4例会は、久城会員のイニシェーションスピーチを予定しています。
5. 4月27日（土）、インターアクト地区協議会が新見公立大学で開催されます。青木会員が出席予定です。
6. 4月27日（土）、浜田ロータリークラブ65周年記念例会が開催されます。田上会員が出席予定です。
7. 5月第1週5月3日は憲法記念日のため休会です。
8. 5月12日（日）、クラブ活性化ワークショップが岡山市で開催されます。永島会長エレクト、増野次期幹事、森本会員増強委員長、田上公共イメージ委員長、村木ロータリー財団委員長が出席予定です（LC）。
9. 5月25日（土）、第5グループ交流親睦ゴルフ会&懇親会が開催されます。参加希望の方はお申し出下さい。なお、申込〆切りは4月23日となっています（LC）。
10. 6月1日（土）、ロータリー青少年指導者養成プログラム・RYLAセミナーが松江テルサで開催されます。参加資格があるのは、地区内のロータリークラブから推薦を受けた満30歳以下

- の社会人、学生、インターアクター、ローターアクター、米山奨学生及びロータリアン、青少年奉仕委員長です。参加希望の方はお申し出下さい。詳細についてはLCをご覧ください。
11. 台湾東部地震に対する支援金の要請が来ています。本日理事会で検討します。
  12. 国際ロータリー2610 地区原勉ガバナーより支援金へのお礼のメッセージが届きました（LC）。
  13. 地区大会記念サイクリング大会は今年は実施しないことになったそうです（LC）。
  14. ポリオプラスソサエティに参加される会員の皆様に認定証とバッジが来ています。
  15. 里親ポスターの掲示にご協力頂ける会員の皆様にポスターが来ています。

◎委員会報告

クラブ管理運営委員会

| 会員数 | 出席  | 欠席 | 長欠 | HC出席率 | M U |
|-----|-----|----|----|-------|-----|
| 19名 | 13名 | 6名 | 0名 | 68.4% | 7名  |

本日のMY箸の使用率は 6/13 46.2パーセントでした。

## 会員スピーチ

〔永島会員、増野会員、青木会員、市原会員、小田川会員、佐々井智恵子会員〕

## 地区研修協議会報告

◎閉会点鐘

13:30

田原会長

**MU 4月7日:地区研修協議会**

永島会員、増野会員、青木会員、市原会員、小田川会員、佐々井智恵子会員

**4月9日:明誠高校入学式**

田原会長

創立S36年1月24日 **THE ROTARY CLUB OF MASUDA** 承認S36年3月16日

会長 田原裕司 副会長 永島一忠 幹事 田上尚志 副幹事 佐々井美穂 会計 重親政継 SAA: 安野光雄

## 2024年4月5日会長挨拶

別紙記載のとおり。

## 注意事項

- ① 例会にはできるだけマイ・箸をお持ち下さい。

## 欠席届出の方法について

- ① 予め例会に欠席することが分かっている場合には、火曜日までに事務局（サウンド・パレット）に連絡する。出席の場合は連絡を要しないものとする（出席連絡をしても構わない。）。
- ② 連絡方法は会員の多くが見られるLINEグループを推奨するが、LINEグループへの参加は自由であるし、LINEを好まない会員もいるので、連絡方法はFAX（サウンド・パレット：0856-23-7379、電子メール（アドレス：[rcmasuda@tx.miracle.ne.jp](mailto:rcmasuda@tx.miracle.ne.jp)））、電話（益田ロータリークラブ事務局専用携帯電話：080-2923-1616）など、特に制限は設けないこととする。
- ③ 事務局は、水曜日の最初の仕事として、例会欠席予定者をLINEグループで発表し、会員に確認を求める。但し、LINEグループ不参加者に対してはショートメール、電子メール、FAX、電話など適宜の方法を用いる。

- ④ 急用で欠席することもあるので、欠席する場合には火曜日を過ぎていても連絡する。火曜日までの連絡を失念していた場合も同様とする。

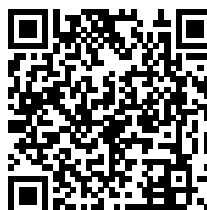
会員専用ページへのQRコードはこちら



会員専用ページレターケースへのQRコードはこちら



ウェブIM記念サイトへのQRコードはこちら



会長あいさつ 2024.4.5

4月は「環境月間」です。今日は切手で環境活動発信について話します。

もう2年半あまりが経ちましたが、2020年9月18日に「日本のロータリー100周年」記念切手が発行されました。ご記憶の方も多いと思います。このコラムでもご紹介しましたが、その記念切手には国際ロータリー（R I）の6つ（切手にはその内の5つ）の重点分野のロゴがデザインされ、ロータリーの活動を広く紹介する切手でした。「6つの」と記しましたが、実はその切手の発行前の7月にR Iは7番目の重点分野として「環境の保護」（当時の和訳は「環境の保全」）を追加していました。そして、昨年10月の国際ロータリー（R I）理事会は4月を「環境月間」とし、「母子の健康月間」を7月にすることを決定しました。そこで、今月は「環境月間」にちなむロータリーの切手を10枚選んでみました。

もともとロータリーでは、地球温暖化をはじめとするさまざまな課題を克服して、人類の生存を確保するため、植林など環境整備の活動が広く行われていました。私が30年余り前に船橋南ロータリークラブ（RC）に入会した頃、所属するR I第2790地区（千葉県）の社会奉仕活動は、富津市における植林事業でした。

R Iのホームページによれば、ロータリーは、人類共通のレガシーである「環境」を守ることが重要だと信じ、「環境を守る」・「気候変動」・「生息地を救う」をキーワードに、ロータリークラブやロータリアンの活動を促しています。

「環境」に関して、ロータリーの切手で多いのは「植林」に関するものです。スリランカ①やノーフォーク諸島②では植林そのものを題材に描いています。ガーナ③やニジェール④の切手には、地球環境保護学習としての植林や、環境への若者の関与を促す取り組みが描かれています。タンザニアの切手⑤では、その発行案内書によればアルージャRCのロータリアンによる植林を中心とした環境プロジェクト（自転車での広報キャラバン）が取り上げられています。

英領バージン諸島ではR Iの75周年記念切手5種の中の1種⑥で「自然公園の整備」を描き環境の保護を呼びかけました。オーストリーのロータリー100周年記念切手⑦は、気候変動を念頭に「クリーンな地球」をアピールし、私は秀逸なデザインだと思っています。R Iには「地球を守る」ロゴ（Preserve

Planet Earth) があり、ガンビアが1997年のポール・ハリス氏没後50周年記念切手2種のうちの1種⑧で取り上げました。

「生息地を救う」は野生生物を保護することに繋がります。ナミビア⑨やコスタリカ⑩ではそれぞれロータリーの100周年記念切手でそのことをアピールしました。コスタリカはこの蝶のほかに固有種の赤ガエルを描く切手などとの3種連刷になっています。

RIは「環境」に取り組むRCや地区のプロジェクトに対し、2021年7月以降、ロータリー財団のグローバル補助金の申請を受け付けています。海外のある地区では「環境」に関するPスタンプ（日本ではフレーム切手）で資金を集めて環境の保護に取り組もうという動きもあると聞いています。切手を通じて「環境」がより広く広報され、ロータリーの活動が活性化することを期待しています。





# 萩・石見空港 開港30周年記念



飛行機に乗って、萩・石見地方の観光地へ

萩・石見空港利用拡大促進協議会事務局



- 写真部分だけでは、切手としてご利用いただけません。
- 郵便料金の納付のためにこの切手をご利用の場合、写真部分に消印がかかることがあります。



© 2015 島根県立美術館